








ばい煙測定

件名	ばい煙測定						
図面	図面番号		1/3				
縮尺	年月日		令和4年12月5日				
業務隊長	管理科長	営繕班長	工事企画係長	管財係	施設係	企画係	係長
					入校		
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊							

仕 様 書

1 件 名： ばい煙測定

2 場 所： (1) 大分県由布市湯布院町川上941
陸上自衛隊湯布院駐屯地

(2) 大分県玖珠郡玖珠町日出生
陸上自衛隊日出生台演習場

3 概 要： 大気汚染防止法に基づき、ばい煙発生施設の測定

4 一般事項

- (1) 本工事の写真是カラーとし、作業状況を撮影し、アルバム(A4版)に整理する。
また、デジタルカメラも使用できるものとし大きさはサーピス相当とし、1部提出する。
- (2) 請負業者は、契約後速やかに作業実施日を係官と調整を行い、また、工程表等を提出して係官の承認を受けるものとする。
- (3) 作業中の安全確保には十分に留意をして現場管理を行うと共に、火災等の災害及び事故に注意をする。また必要に応じて養生等の処置を行うものとする。
- (4) 作業以外の施設等には、損傷を与えないよう十分注意して施工すること。万一、損傷を与えた場合には係官に報告し、原因が本作業に関わると認められた場合、請負業者が賠償及び補償の責を負うものとする。
- (5) 現場において、指示された以外への立入及び火気の使用は禁止する。
- (6) 作業中に発生したス・ゴミ等は請負業者の責任において処分するものとする。また、現場は常に清潔にし、片付け清掃をその都度実施すること。
- (7) その他弊害が生じた場合は、係官と協議の上実施するものとする。
- (8) 部除側の電気・水道等を使用する場合は、係官の承認を受けた後使用し、その後料金を負担すること。
- (9) 本測定後、ばい煙測定結果報告書(計算証明添付)を整理し、2部提出するものとする。

5 ばいじん測定(計算)方法

ばいじん量	JISZ 8808
窒素酸化物量	JISK 0104

6 施設の概要

(1) 湯布院駐屯地

場 所	ボイラー室	整備工場
測定対象物	炉筒煙管ボイラー 川重冷熱工業株式会社製 KS-30	小型貫流ボイラー 川重冷熱工業株式会社製 EQSH-2002KM
使用燃料	A重油 1種2号 (硫黄分0.74%)	
煙 突	1.5m 鋼板製 (頂上径 1,000mm)	8.6m 鋼板製 (頂上径 550mm)
ダクト断面積	0.36㎡	0.17㎡
数 量	2 基	1 基

(2) 日出生台演習場

場 所	ボイラー室 1	ボイラー室 2	
測定対象物	小型貫流ボイラー IHI汎用ボイラー製 K-1000L	鍋筒貫流ボイラー 川重冷熱工業株式会社製 KF-1000A	真空式温水ヒーター 株式会社日野工業 KFL-630AH
使用燃料	A重油 1種2号 (硫黄分0.74%)		
煙 突	10.3m 鋼板製 (頂上径500mm)	5.58m 鋼板製 (頂上径500mm)	6.55m 鋼板製 (頂上径500mm)
ダクト断面積	0.126㎡	0.096㎡	0.196㎡
数 量	1 基	1 基	2 基

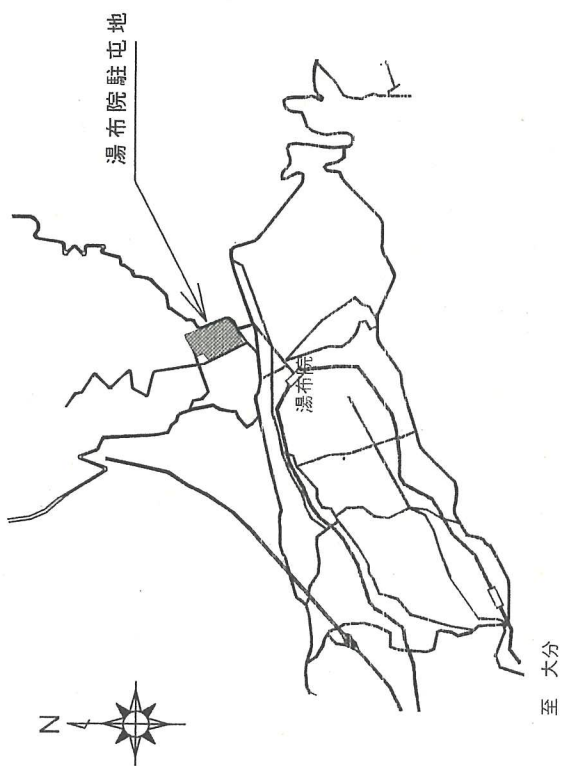
7 測定項目

項 目	測 定 結 果	単 位
測定年月日及び時間	年 月 日 (時 ~ 時)	
天候及び気候		°C
測定時における燃料消費量		L/h
排ガス(湿り)	平均値	m ³ N/h
排ガス(乾き)	平均値	m ³ N/h
ばいじん量	平均値 規制値	g/m ³ N
窒素酸化物	平均値 規制値	ppm
排ガス温度		°C
排ガス水分量		%
排ガス流速		m/sec
排ガス濃度		%
測定者氏名		

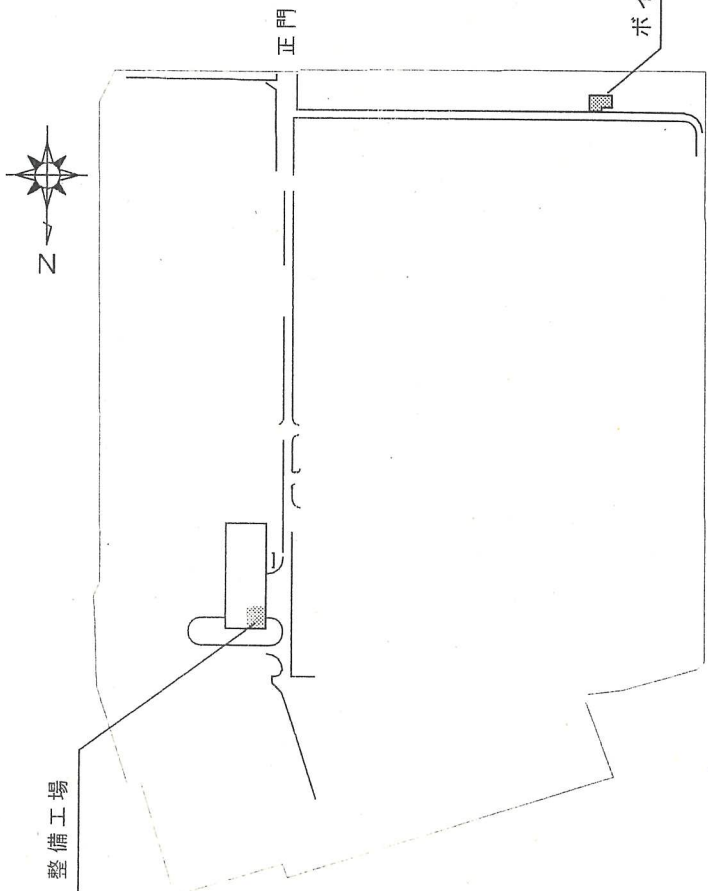
件 名 陸上自衛隊湯布院駐屯地 業務隊

図 面 尺 仕様書 図面番号 2/3

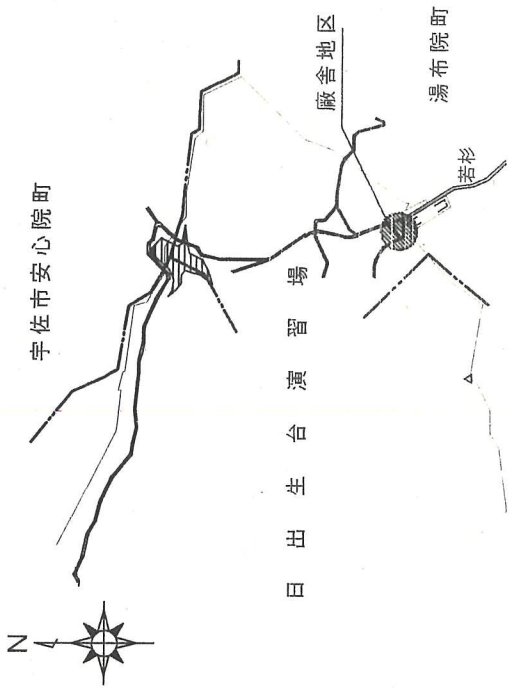
縮 尺 令和 4年 12月 5日



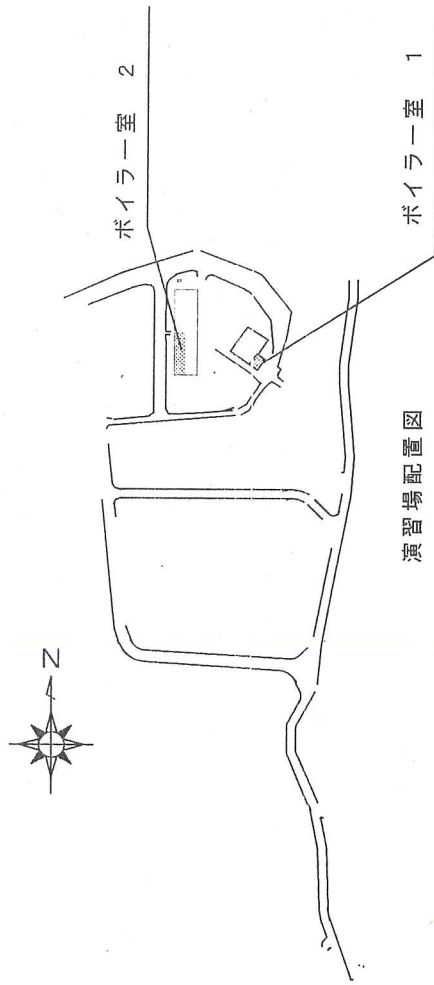
駐屯地案内図



駐屯地配置図



演習場案内図



演習場配置図

件名	ばい煙測定		
図面	案内図・配置図	図面番号	3/3
縮尺		作成年月日	令和4年/2月5日
陸上自衛隊湯布院駐屯地業務隊			